

令和7年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	6.9	9.4	7	2	4
鴨川	新大宮バイパス線下	10	5.8	8.1	19	5	9.8
	加茂川橋	11	4	8.1	57	6	14.9
	学校橋	14	5.9	9.1	29	5	12
	中土手橋	9.8	5.2	7.3	36	8	19.4
	さくら草橋	10	5.0	7.4	19	6	12
鴻沼川	櫛引橋	5.7	2.6	4.0	35	7	15
	霧敷橋	15	10	13	14	1	4
	新開橋	11	5.9	8.2	38	4	13
笹目川	市立浦和南高校脇	9.6	2.9	6.7	21	4	10.0
藤右衛門川	柳橋	8.5	3.6	7.0	21	2	7
芝川	船橋	8.6	5.3	6.9	12	2	5
	境橋	9.3	5.3	7.4	15	3	7
	大道橋	9.9	4.7	7.4	24	4	12
	八丁橋	12	5.2	7.2	26	8	20
深作川	宮ヶ谷塔橋	10	5.8	8.3	31	8	19
綾瀬川	高野橋	9.3	5.1	7.1	32	8	14
	戸井橋	10	5.3	7.5	27	7	18
	礮橋	15	5.6	8.6	31	11	19.1
元荒川	城北大橋	9.4	5.6	7.4	15	3	8
	新曲輪橋	9.7	5.6	7.6	21	4	10
	永代橋	11	6.4	8.7	35	5	12
古隅田川	城殿宮橋	8.6	5.3	6.7	38	13	20

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質量): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。